

Kagee 「カゲエスピーカー」取扱説明書

■ 内容物



箱を開けてすぐにご確認ください。不足している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

■ 名称とはたらき

正面



電源スイッチ (A)
上げると電源 ON
下げると電源 OFF

ボリュームつまみ (B)
左に回し切った状態がボリュームゼロです。
右に徐々に回して、ボリュームを適音にご調節ください。

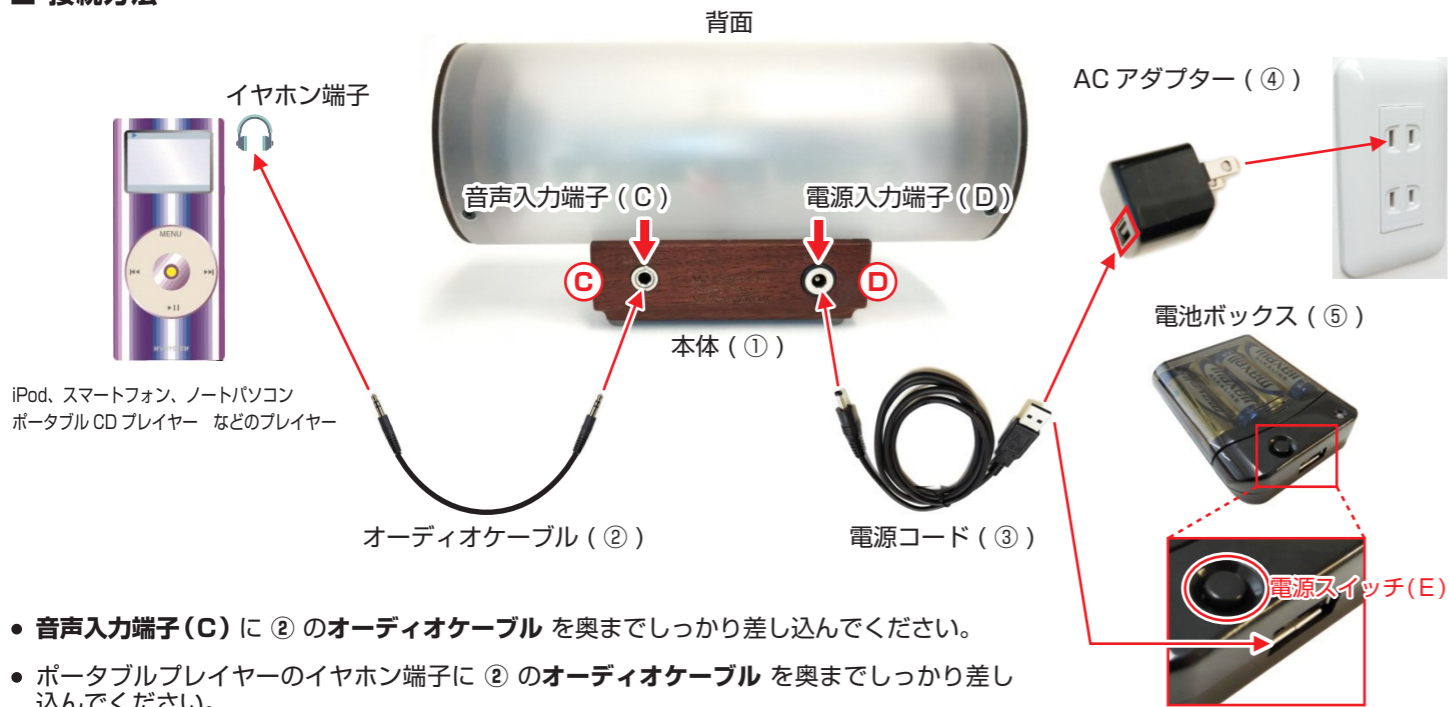
背面



音声入力端子 (C)
CD プレーヤーなどの音源機器をオーディオケーブルで接続します。

電源入力端子 (D)
付属の電源コードを接続します。

■ 接続方法



- 音声入力端子 (C) に ② のオーディオケーブル を奥までしっかり差し込んでください。
- ポータブルプレイヤーのイヤホン端子に ② のオーディオケーブル を奥までしっかり差し込んでください。
- ③ の電源コードを 電源入力端子 (D) に接続してください。
- 室内など、コンセントがお近くにある場合は、③ の電源コードを ④ のACアダプター に接続し、ACアダプター をコンセントに差し込んでください。
- 屋外など、コンセントがお近くにない場合は、③ の電源コードを ⑤ の電池ボックス に接続して ⑤ の電池ボックスの電源スイッチ (E) を押下してご使用下さい。

Point ② のオーディオケーブルが奥までしっかり差し込まれていないと、音が正常に鳴りません。また、接続が不安定な状態が続くと、故障の原因となります。

主な仕様

Kagee 「カゲエスピーカー」
サイズ：6φ × 15.3cm × 8.2cm
重さ：215g
再生周波数帯域：170Hz ~ 18kHz
許容入力：4W、インピーダンス：4Ω

SLA 「ショコラ・バニラ」取扱説明書

■ 内容物



箱を開けてすぐにご確認ください。不足している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

■ 名称とはたらき

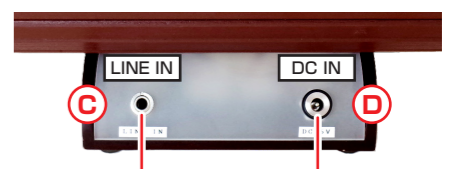
正面



電源スイッチ (A)
上げると電源 ON
下げると電源 OFF

ボリュームつまみ (B)
左に回し切った状態がボリュームゼロです。
右に徐々に回して、ボリュームを適音にご調節ください。

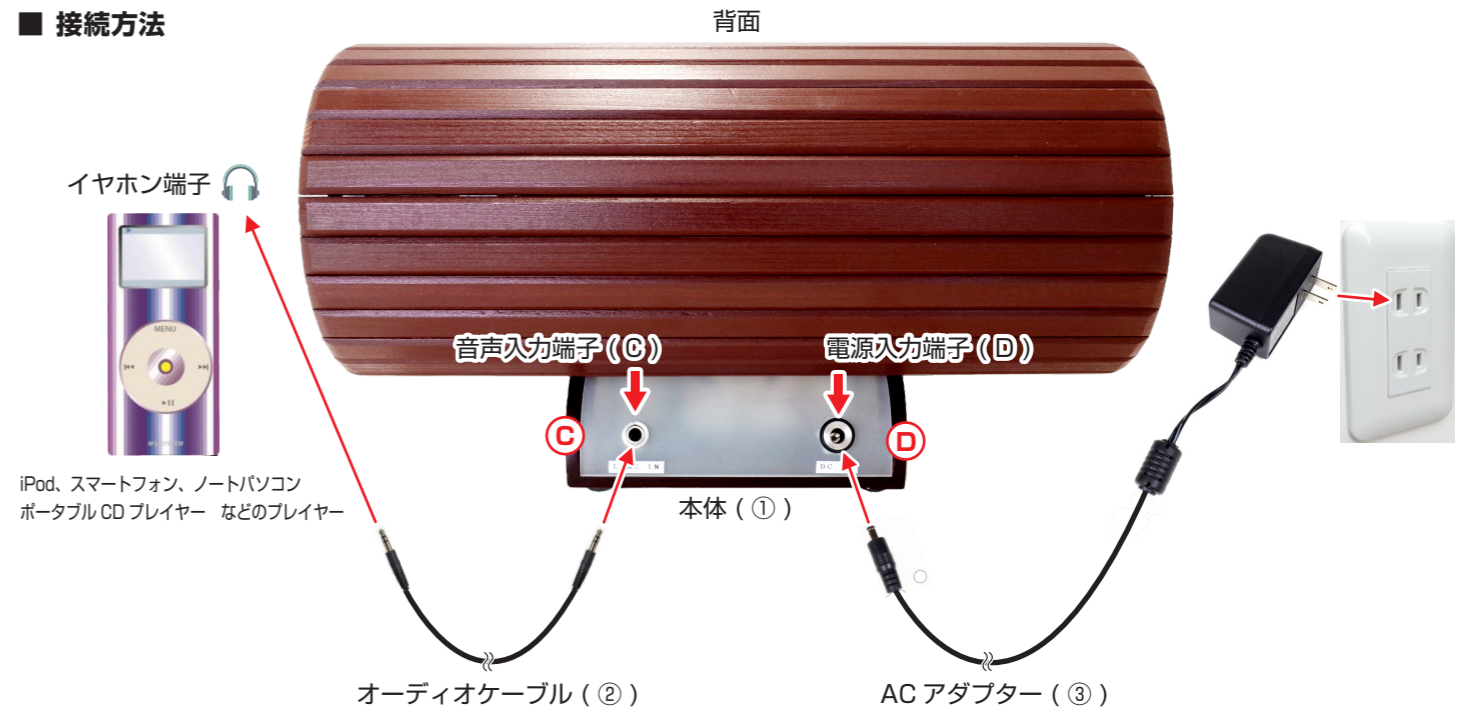
背面



音声入力端子 (C)
CD プレーヤーなどの音源機器をオーディオケーブルで接続します。

電源入力端子 (D)
付属の電源コードを接続します。

■ 接続方法



- 音声入力端子 (C) に ② のオーディオケーブル を奥までしっかり差し込んでください。
- ポータブルプレイヤーのイヤホン端子に ② のオーディオケーブル を奥までしっかり差し込んでください。
- ③ の AC アダプターを 電源入力端子 (D) に接続してください。
- ③ の AC アダプターをコンセントに差し込んでください。

Point ② のオーディオケーブルが奥までしっかり差し込まれていないと、音が正常に鳴りません。また、接続が不安定な状態が続くと、故障の原因となります。

主な仕様

SLA 「ショコラ・バニラ」
サイズ：9.6φ × 22cm × 12.7cm
重さ：860g
再生周波数帯域：160Hz ~ 20kHz
許容入力：10W、インピーダンス：4Ω

ご使用上の注意と使い方 (ショコラ・バニラ 共通)



ご使用上の注意

- ・スピーカーに指定された最大許容入力を越える音量は厳禁となりますのでボリュームの上げ過ぎはお避け下さい。
- ・十分な音の広がりをお楽しみいただけるように、スピーカーの左右両側は出来る限りの空間を確保して設置してください。
- ・iPod等のプレーヤーを接続する場合は、接続用のケーブルをしっかりと奥まで差し込んでから、スピーカー本体の電源を入れるようにしてください。奥までしっかり差し込まれていないと故障の原因になります。
- ・スピーカーの電源が入った状態で、各種接続ケーブル(プレーヤー等含む)の抜き差しは絶対に行わないで下さい。
- ・音量を上げたままで、接続機器やピンジャック等の抜き差しは絶対に行わないでください。ビート音(アースがかからない状態で、ホット側をタッチする時のノイズ音)による過大信号印加や流れこみによる故障を防止できます。
- ・iPodなどのMP3プレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの「プレーヤー専用機」との接続を前提として開発されております。テレビやラジカセなど、独自のアンプが内蔵されている機器に接続してのご使用は故障の原因となる可能性がありますのでお控えください。

■ スピーカーの使用法

① 電源を「ON」にする

スピーカーを過入力による故障から保護する為、ボリュームつまみを一番左(ボリュームゼロ)まで回しきってから、電源スイッチを上げ、「ON」にしてください。

② ボリュームを調整する

プレーヤー側の音量をしっかりと上げて再生し、スピーカー本体側のボリュームつまみは9時~12時の位置を目処に徐々にあげて、適音でお楽しみください。

③ 電源を「OFF」にする

ご使用後は、ボリュームつまみを一番左(ボリュームゼロ)まで回しきってから、電源スイッチを下げ、電源を「OFF」にしてください。

イヤホンは耳の安全を守るためイヤホン端子から出る音を控えめに作られている場合がありますので、iPhoneや携帯オーディオプレーヤーなどのイヤホン/ヘッドホン端子につなぐ際には、プレーヤー側の音量を8~9割程度まであげてお楽しみください。

■ ヘッドホン/イヤホン端子がないスマートフォンと接続するには

下記のような専用ケーブルまたはBluetooth受信機をご利用いただくことで接続いただけます。

① 専用ケーブルを使用する(スマートフォン底面などにある端子に接続してご使用いただけます。)

iPhone ライトニング端子用 ステレオミニオーディオケーブル(3.5Φ)



スピーカーとiPhoneとの接続方法の動画です。お手持ちのスマートフォンからQRコードを読み込んでご覧ください。



Androidスマートフォン USB-C端子用 ステレオミニオーディオケーブル(3.5Φ)



スピーカーとAndroidとの接続方法の動画です。お手持ちのスマートフォンからQRコードを読み込んでご覧ください。



② Bluetooth接続を使用する

ステレオミニ端子(3.5Φ)に接続可能な、市販の外付けBluetooth受信機をご用意いただくことでBluetooth接続が可能となります。



※Bluetoothでの接続では、ご使用の環境により音質が不安定になる可能性があります。よりよい音質をお求めの場合は、付属のオーディオケーブルでの接続をおすすめいたします。

スピーカーとBluetooth受信機を使用した接続方法の動画です。お手持ちのスマートフォンからQRコードを読み込んでご覧ください。



※iPhoneとAndroidスマートフォンでは、ご用意いただく専用ケーブルが違いますので、ご注意ください。

■ エムズシステム・サポートセンター

取扱い方法、製品の修理・サービスについて、ご相談を承っております。

営業時間: AM10:00 ~ 18:00 (定休日: 水曜) メールアドレス: support@mssystem.co.jp

電話: 03-5542-7432 ファックス: 03-5542-7677 ホームページ: http://mssystem.co.jp

製造元: 有限会社エムズシステム 東京都中央区新富2-1-4

「故障かな?」と思ったら → http://mssystem.co.jp/about_repair.html
(ホームページ(PCモード)一番下の「修理・メンテナンス」からどうぞ)

スマートフォンからはこちらのQRコードを読み込んでご覧ください。



安全上の注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人の死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



必ず実施

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や臭気、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものが入ったとき

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してからサポートセンターにご連絡ください。お客様による修理などは危険です。絶対におやめください。



必ず実施

電源プラグの先端および先端付近に埃や金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や遺物をいれない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

水をかけたり濡らしたりしないでください

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調査・修理はサポートセンターにご依頼ください。



水ぬれ禁止

機器の近くに花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない。

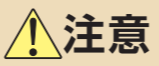
こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

長時間、音が歪んだ状態で再生しない

火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず実施

電源ケーブルは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源ケーブルを接続するときはそれぞれの接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。また、電源ケーブルは束ねたまま使用しないでください。発熱し火災の原因となることがあります。



禁止

電源ケーブルを熱器具に近づけない

ケーブルの被ふくが溶け、火災・感電の原因となることがあります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから

プレーヤーと接続する場合は、電源を切り各機器の取扱説明書に従って接続してください。また、接続には指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ベンジン・シンナーなどの揮発性薬品で拭かない

火災・変色の原因となる事があります。機器についての汚れや埃は乾いた布で拭き取ってください。



必ず実施

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



禁止

間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。許容入力を超える音量は故障の原因となることがあります。



禁止

特定信号を連続して再生しない

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定した信号を連続して再生しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは

電源ケーブルを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、故障の原因となることがあります。



禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所
- 湿気や埃の多い場所
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



禁止

自動車の中に放置しない

内部に熱がこもり、火災・感電・故障の原因となることがあります。



必ず実施

移動させるときは

まずは電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間の外出・旅行の時など使用していないときは電源を切り、プレーヤーとの接続ケーブルははずす

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。